

海外駐在6か国32年目。 22年振りに2度目の来星。

シンガポール日本商工会議所 理事
CANON SINGAPORE PTE. LTD.
President & CEO
石井 俊幸



シンガポール日本商工会議所の皆様、2024年1月に来星し、この度、前任の小林に替わりまして理事を拝命致しましたキャノンシンガポールの石井でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

私事、海外駐在は長く、32年目になります。

キャノン入社後、カナダトロントへの1年間のトレーニー派遣、本社勤務3年を経て、1993年からキャノン香港に約5年間駐在。中国及び東アジアのイメージング商品の販売業務全般を担当し、そのまま1998年1月にキャノンシンガポールに異動。南&東南アジアを担当。その後、2002年に米国ニューヨークに異動となり、キャノンUSAで12年間勤務の後、2014年4月に英国ロンドンにあるヨーロッパ本社に異動。EMEA (Europe, Middle East & Africa) での販売事業を担当し、その後2016年4月に中国現法本部のある北京に異動し、キャノン中国で8年間過ごして参りました。ここまでで海外31年になります。

この度2024年1月付で2度目のシンガポール駐在を拝命し、いよいよ海外32年目に突入した次第です。家族は、離散(?)状態です。30歳になる長女は香港、シンガポール、米国で育ち、米国の大学を出て、そのまま米国で就職し、一昨年米国人と結婚。今も米国暮らしです。次女は、シンガポールで生まれ、米国と英国で育ち、米国の大学に進み、現在はカナダのトロントの大学院で博士号を目指して勉強中。ニューヨーク生まれの長男は、米国と英国で育ち、私の北京異動を期に、妻と日本に移りました。長男にとっては日本で初めて生活をするようになり、小中高一貫の学校で伸び伸びやっております。妻は、長男と一緒に日本に滞在しておりますが、長男の大学受験が終わったら、長男を日本に置いて、シンガポールに来てくれるものと期待しております。

先述の通り、1998年から2002年まで約4年半、1回目のシンガポール駐在をりましたが、家族全員未だに「シンガポールが一番良かった!」と異口同音言っており、今回の私の2度目のシンガポール駐在を家族一同喜んでおり、離散した家族が久しぶりにシンガポールで集結する日も近いのでは、と思っております。

一方、一回目のシンガポール駐在時とは大きく異なる事業環境、生活環境に驚いております。シンガポールはもはや超先進国に成長し、90年代後半には300万人だった人口が600万人に倍増。また、一人当たりのGDPも当時の1万ドルから、何と現在は8万ドル、世界第3位にまで急伸。物価上昇も甚だしく、3ドルで食べられたチキンライスが最低でも8~10ドル、ちょっと高級になると20ドルもする状況になっていました。為替レートも、当時65円だったSIN\$も、今や110円と、信じられないレベルにまで円が弱くなっており、インフレに加え、為替の影響で全てが高くなってしまっています。特に、皆さま各社も苦慮されていることと思っておりますが、シンガポールの人件費や固定費の高さにも驚いております。

私の当地における責務は、西はインド・パキスタン、南はインドネシア、東はフィリピン、北はベトナム、台湾、香港、に至る地域での販売事業の拡大と、顧客満足最大化であります。顧客の意に沿った地に着いたサービスやソリューションが提供できるよう、微力ながら尽力したいと思っております。皆さまにおかれましては、今後ともご指導ご鞭撻お願い申し上げます。また、多くの皆様とゴルフ等も含めて交流をさせて頂き、様々な情報交換等させて頂きたいと楽しみにしております。